

# 第2回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会 募集要項

## ① 大会概要

### 1 趣旨

二人の万葉歌人が国司として赴任した地、鳥取県。一人は「令和」の出典となった梅花の宴の場にいた山上憶良、もう一人は万葉集結びの歌を詠んだ大伴家持である。

このことから、全国の高校生を対象とした短歌大会を開催し、鳥取県が万葉集ゆかりの地であることを広く全国に発信するとともに、若い世代が日本古来の文化である短歌に親しむ契機とする。

### 2 大会名称

第2回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会

### 3 日時・会場

- (1) 日時 令和2年12月13日(日) 本選 午前10時から午後0時15分まで  
表彰式 午後0時15分から0時30分まで
- (2) 会場 米子コンベンションセンター BIGSHIP 国際会議室  
(鳥取県米子市末広町294)

11月上旬時点での新型コロナウイルス感染症の状況により、当日参集による開催が困難と主催者が判断した場合は、動画審査等による開催とする予定。

### 4 本選審査員

大辻隆弘氏(歌人・「未来」選者・現代歌人協会会員・現代歌人集会理事)

穂村弘氏(歌人・歌誌「かばん」所属・日経新聞歌壇選者)

江戸雪氏(歌人・「塔」短歌会選者)

※ 予選審査は、別途主催者が依頼する審査員が行います。

## ② 対象

### 1 参加資格

以下(1)～(3)を全て満たす者とする。

- (1) 令和2年度に高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)、特別支援学校高等部、高等専門学校及び専修学校(修業年限が高等学校と一致している生徒に限る。)に在籍していること。
- (2) 予選を通過した際に本選に参加できること。
- (3) 宿泊を伴って参加する場合、保護者了承の上で教員又は保護者などの大人が同行できること。

### 2 チーム編成

同一校又は複数校の生徒で編成するものとし、3名1チームとする。なお、同一校からの複数チームの参加申込についても可能とする。

### 3 本選出場チーム数

- (1) 本選出場チームは予選審査を通過した8チームとする。
- (2) (1)の8チームのうち2チームは開催地(鳥取県)枠とする。ただし、開催地の参加申込チーム数が1以下であった場合、又は主催者が開催地のチームを1チーム以下とすべきと判断した場合はこの限りでない。

### ③ 参加申込方法

#### 1 参加申込方法（予選）

(1) 申込フォーム、電子メール又は郵送により以下の提出様式による内容を送付すること。なお、電子メール又は郵送の場合、様式は鳥取県文化政策課ホームページからダウンロードすること。

また、電子メールによる申込の場合は、メールの件名を「第2回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会応募（チーム名）」とすること。

##### 【提出様式】

- ①様式第1号 第2回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会参加申込書
- ②様式第2号 第2回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会作品応募用紙

(2) 題は以下のとおりとし、本選出場となった場合、準々決勝においては参加申込した短歌にて対戦するものとする。

先鋒「光」 中堅「家」 大将「育」

##### 【留意点】

- ①示された題（漢字）そのものを短歌に詠み込むこと。
- ②1人1首・1チーム計3首とし、本人が創作した未発表の作品に限る。  
(審査はそれぞれの作品について行うこととし、チーム内の作品の関連性は問わない。)
- ③辞書に掲載されている読み方及び熟語の一部として使用することができる。

#### 2 募集期間

令和2年7月1日（水）から9月30日（水）まで

（郵送：当日消印有効 電子メール・申込フォーム：9月30日（水）午後11時59分まで）

【申込先・様式を掲載しているホームページ】

鳥取県地域づくり推進部文化政策課

住所 〒680-8570（住所記載不要）鳥取県鳥取市東町一丁目220（鳥取県庁本庁舎6階）

電話 0857-26-7134／ファクシミリ 0857-26-8108／電子メール bunsei@pref.tottori.lg.jp

ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/bunkaseisaku/>

### ④ 予選

#### 1 審査方法

主催者が依頼した審査員が審査を行い、本選へ出場するチーム及び入選作品を決定する。

#### 2 予選審査結果の通知

本選出場チームについては、10月下旬から11月上旬までに結果を通知するとともに、鳥取県文化政策課ホームページにて公表する。本選出場チームには、別途本選参加に係る必要書類等を送付する。準決勝及び決勝戦の題及び作品（一人1首）の提出については、予選通過した8チームに別途通知する。

## ⑤ 本選

### 1 対戦方法

予選審査を通過した8チームによるトーナメント方式の団体戦とし、本選当日は準々決勝4試合、準決勝2試合及び決勝の7試合を行う。

#### (1) トーナメントの組み合わせ決定の抽選

11月末にウェブサイト上で抽選を行い決定する。

#### (2) 準々決勝・準決勝

- ① 1チームは、先鋒、中堅、大将の3名で構成。2チームが緑側・白側へ着席。
- ② 先攻チームの先鋒が歌を自由なパフォーマンスで披露（1分）。
- ③ 先攻チームの先鋒に対する審査員による質疑応答（1分）。
- ④ 後攻チームの先鋒が歌を自由なパフォーマンスで披露（1分）。
- ⑤ 後攻チームの先鋒に対する審査員による質疑応答（1分）。
- ⑥ 3名の審査員により緑又は白の旗をあげて勝敗を決定（審査員1人につき1点、計3点）。
- ⑦ ②～⑥と同様に中堅、大将戦を実施。
- ⑧ 中堅戦の結果、2対0となり勝敗が決定した場合においても大将戦を実施。

#### (3) 決勝

前項①～⑦の流れを先鋒、中堅、大将の順に行うが、それぞれの判定は行わず、チーム単位で審査員による判定を行い勝敗を決定する。

### 2 表彰

表彰は次のとおりとする。

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| (1) 優勝         | 副賞：図書カード 1万5千円分／チーム |
| (2) 準優勝        | 副賞：図書カード 1万円分／チーム   |
| (3) 第3位（2チーム）  | 副賞：図書カード 5千円分／チーム   |
| (4) 審査員特別賞（3名） | 副賞：図書カード 3千円分／名     |

\*大会出場チームの作品及び入選作品の中から本選の審査員が1首ずつ選定し、それぞれに「審査員特別賞大辻隆弘賞」「審査員特別賞穂村弘賞」「審査員特別賞江戸雪賞」を授与する。

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| (5) パフォーマンス特別賞（2チーム） | 副賞：鳥取県のスイーツ 1万円相当／チーム |
|----------------------|-----------------------|

\*大会当日は、主催者が準備する万葉衣装を着用し、朗唱などの自由なパフォーマンスにより作品発表。審査員が最も優れたパフォーマンスを行った最大2チームを選考する。

- (6) 入選作品については、本選当日に会場内にて学校名・学年・氏名と共に展示する。

## ⑥ 参加費用

### 1 予選

予選の参加申込にかかる費用は全て参加申込者の負担とする。

### 2 本選

- (1) 参加料は無料とする。
- (2) 本選出場チーム（生徒（3名）、同行者（1名まで））が参加するにあたり主催者が負担する交通費・宿泊費については、上限を150,000円／チームとし、職員の旅費等に関する条例（昭和45年鳥取県条例第48号）の規定に準ずるものとする。
- (3) 審査員特別賞受賞者（生徒（1名）、同行者（1名まで））が表彰式にするにあたり主催者が負担する交通費・宿泊費については、上限を50,000円／名とし、職員の旅費等に関する条例（昭和45年鳥取県条例第48号）の規定に準ずるものとする。
- (4) 表彰式後の交流会にかかる費用は主催者負担とする。
- (5) 本選出場に伴う宿泊先（前泊）は、主催者が準備するものとする。後泊が必要となる場合は別途相談のこと。

## ⑦ 個人情報、肖像権及び著作権の取扱いについて

本大会への参加における個人情報、肖像権及び著作権については以下のとおり取り扱うものとする。

### 1. 個人情報

- (1) 本選出場チームのチーム員及び審査員特別賞受賞者は、当日プログラムに学校名・学年・氏名を掲載する。
- (2) 会場内でアナウンス、スクリーン等により学校名・学年・氏名を紹介する。
- (3) 本選出場チームのチーム員及び入選作品の作者は、鳥取県公式ホームページ及び公式ソーシャルメディア（Facebook、twitter、YouTubeを含む。以下「公式サイト」という。）に学校名・学年・氏名を掲載することがある。
- (4) 大会関係者、報道機関、後援団体、協力機関等に学校名・学年・氏名を情報提供することがある。
- (5) (2) から (4) までに記載した方法により、本選出場チームのチーム員結果（チーム成績を含む。）とともに参加者の学校名・学年・氏名を公表することがある。
- (6) 参加者から提供されたすべての個人情報は、大会出場に係る連絡及び通知、大会に関する統計（個人を特定できない範囲での利用とする。）等、大会に関する目的で使用することがある。

### 2. 肖像権及び著作権

- (1) 応募された作品を公表することがある。
- (2) 主催者、報道機関、後援団体、協力機関等により撮影された参加者の映像が、中継、放送及びインターネット配信により公開されることがある。また、当該映像がDVD等に編集され、配布されることがある。
- (3) 主催者、報道機関、後援団体、協力機関等により撮影された参加者の写真（電子データを含む。）が公式サイト、新聞、雑誌等の印刷物及びインターネット等に掲載されることがある。
- (4) 主催者が撮影した映像若しくは写真を大会関係者、報道機関、後援団体、協力機関等に提供することがある。
- (5) その他、主催者に許可を受けた者によって撮影された映像及び写真が公開されることがある。
- (6) 主催者が撮影した映像及び写真の著作権は主催者に帰属するものとし、当該映像及び写真の利用及びこれに伴う編集、改変についての異議申し立て等は受け付けない。

### 3. 主催者としての対応

主催者が取得した参加者の個人情報は、上記利用目的以外に使用しないものとする。ただし、主催者は、お預かりした個人情報を取り扱う業務の一部または全部を外部に委託することがある。

## ⑧ 主催者・後援

### 1 主催者

鳥取県

### 2 後援

鳥取市 倉吉市 米子市 境港市 岩美町 八頭町 若桜町 智頭町 湯梨浜町 三朝町 北栄町 琴浦町 日吉津村 大山町 南部町 伯耆町 日南町 日野町 江府町 鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校文化連盟 鳥取県歌人会 朝日新聞鳥取総局 共同通信社鳥取支局 山陰中央新報社 産経新聞社 (株)新日本海新聞社 時事通信社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 TSKさんいん中央テレビ テレビ朝日鳥取支局 日本海テレビ BSS山陰放送 いなびょんぴょんネット (株)中海テレビ放送 日本海ケーブルネットワーク 鳥取中央有線放送(株)

## ⑨ 本選において着用する万葉衣装について

本選において主催者が準備し、出場チームの方が着用する万葉衣装は以下のようなものとする。

【左：女性 右：男性】



【女性】小物・・・ お花、髪飾り、古代風のアクセサリー等

【男性】小道具・・・ 烏帽子（えぼし）、笏（しゃく）、古代風のアクセサリー

## ⑩ 参加申込先・問合せ先

鳥取県地域づくり推進部文化政策課

住所 〒680-8570（住所記載不要） 鳥取県鳥取市東町一丁目220（鳥取県庁本庁舎6階）

電話 0857-26-7134／ファクシミリ 0857-26-8108／電子メール [bunsei@pref.tottori.lg.jp](mailto:bunsei@pref.tottori.lg.jp)

ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/bunkaseisaku/>

## （参考）昨年度の大会の様子について

昨年度開催した「令和記念 万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会」の様子は以下のとおりです。台風19号が接近し、荒天の中ではありましたが規模を縮小して開催しました。



〈発表の様子〉



〈表彰式にて平井知事から授与される鳥取東高〉

## 第2回 万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会 参加申込書

## 1. チームの情報

ふりがな	
チーム名 (学校名でも可)	

## 2. 連絡責任者(担当教諭)の情報

\*大会出場が決まった場合の連絡先を御記入ください。

学 校 名	
学校所在地	〒
ふりがな	
氏 名	
所属等(役職、部(サークル名)等)	<input type="checkbox"/> 担任 ( 年 組) <input type="checkbox"/> 顧問 ( 部) <input type="checkbox"/> 教科担当 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・該当するものに☑し、( )内を記入してください。
電話番号	
電子メール	

## 3. 参加者名

先 鋒	ふりがな		学 校 名	学年	性別
	氏 名				男・女
中 堅	ふりがな		学 校 名	学年	性別
	氏 名				男・女
大 将	ふりがな		学 校 名	学年	性別
	氏 名				男・女

※ 全員が同一校の場合、学校名は先鋒のみ御記入ください。

※ 準決勝・決勝に勝ち進んだ場合、役割を交代していただいて結構です。

